(4) 産業·勤労

≪施策別成果動向一覧≫

			r#:	ま	ちづ	くり扌	旨標	の推	移			成果	指	票の	推移	,	
	釆		成果	対基準値		対前年度		対基準値				対前年度					
節	番号	施策名	木動向	改善	横維ば持い・	悪化	改善	横維ば持い・	悪化		横維 ば持 い・	悪化	比較不可	改善	横維 ば持 い・	悪化	比較不可
農業	25	魅力のある農業を推進す る	順調でない	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
商工業	26	商工業を活性化する	順調	1	0	0	0	0	1	5	0	1	0	5	0	1	0
勤労	27	市民の就業を支援する	順調	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	3	0
消費生活	28	安全な消費生活を支援する	横ばい	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0

≪まちづくり評価委員会の評価≫

「産業・勤労」分野では、まちづくり指標等の動向から判断して、施策の成果動向は、「順調」が2施策、「横ばい」が1施策、「順調でない」が1施策となり、分野全体の成果動向は、「横ばい」と評価する。

農業の振興については、地域ブランド化やPR活動の推進が重要であり、さまざまな販売方法に対する支援が必要である。また、消費者の意識や価格問題を考慮した支援の強化も求められている。

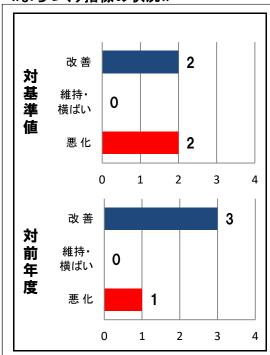
就業支援に関しては、若年層、女性、障がい者、高齢者それぞれのターゲットに応じた支援の 充実が求められ、消費生活の安全については、詐欺や消費者トラブルの増加に対処するため、高 齢者を中心とした啓発活動の強化が必要である。

[施策25] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。

[施策26・27] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」であると評価する。

[施策28] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」と評価する。

≪まちづくり指標の状況≫



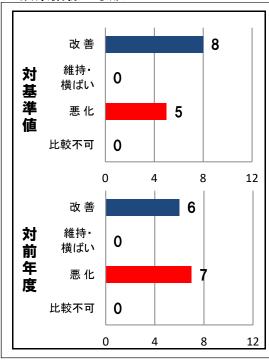
[10年後めざそう値を達成した指標]

(0037	魅力ある商店や企業が多いと感じている人の 割合
(0038	さまざまな立場の人が働きやすい環境が確保 されていると思う人の割合

[基準値と比較して悪化した指標]

	市内の農産物に愛着を感じている人の割合
0039	商品などの安全性やリスクを理解して購入・ 利用している人の割合

≪成果指標の状況≫



[基準値と比較して改善した主な指標]

2611	工業事業所数
2631	小規模企業等振興資金信用保証料の補助件数
2811	市民向けに行う消費生活講座の参加者数
2821	消費生活相談件数

[基準値と比較して悪化した主な指標]

2521	地域特産物の出荷額
2642	市内ホテル等の外国人宿泊者数
2711	職業紹介件数
2721	労働相談件数

≪第4章「産業・勤労」指標の状況≫

【まちづくり指標】「魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合」はじめ2指標が10年後めざそう値(R5(2023))を達成し、基準値と比較して分野全体で50.0%が改善した。

一方、基準値以下となった指標は「市内の農産物に愛着を感じている人の割合」はじめ2指標(50.0%)となった。

【成果指標】「工業事業所数」はじめ8指標、分野全体で61.5%が基準値より改善した。また、 基準値以下となった指標は「地域特産物の出荷額」はじめ5指標(38.5%)となった。

活力 理念 章 04 産業・勤労

節 01 農業

25 魅力のある農業を推進する 施策

施策主管課【農務課】

めざすまちの姿

魅力ある農業となっている

施策の基本方針(総合計画から抜粋)

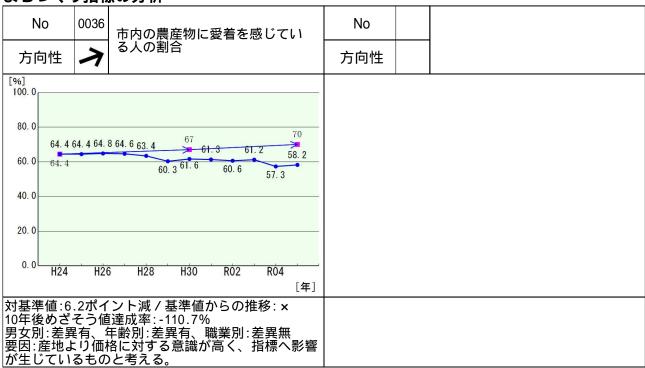
魅力のある農業を進めるため、農産物のPRに努めるとともに、農業者の自主性と創意工夫への 支援や後継者の育成、また、生産組織の強化を図ります。 農地の有効利用と農業用施設の適切な管理に努めます。

施策実現のための財源投入状況

(単位:千円)

	単位施策名称	R05年度予算	R05年度決算
01	農地の有効利用を進める	117,843	113,778
02	農業経営を支援する	117,155	109,533
	施策合計	234.998	223.311

まちづくり指標の分析



めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標は基準値から低下しており、施策は順調に進展しなかった。 職業別では主婦や高齢者、年齢別では65歳以上の人など、特定の職業や年齢層では市内農産物に対する愛着指標は高い数値を示していたが、全体評価としては順調でない結果となった。 これは、市内の農産物に接する機会の多い職業や年齢層では基準値を上回る数値を示しているものの、近年の天候不良等による影響で農産物の価格が乱高下するなか、「産地」より「価格」の重視が全体の評価に影響したものと考える。 市内農産物は都心部などの大消費地へ出荷されることが多いため、7次計画では市内農業の発

信度合を把握できる指標へ修正し、農業が持つ魅力の振興を図っていく。

単位施策主管課【農務課】

成果指標の推移

No	2511	No		
方向性	7	- 農地の有効利用率	方向性	
98. 5 98 96 94 92 90 H24	99 H26	98. 9 97. 3 97. 3 96. 4 96. 3 95. 5 95. 3 94. 7 95 H28 H30 R02 R04 [年]		

No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標の基準値からの変化は少なく、単位施策は横ばいで推移した。 平成25年度に実施した農家意向調査では48%の農家が規模縮小・離農の意向を示しており、 総農地は10年で約15%減少した。これらを背景に後継者不足や狭小な農地が集積されず遊休農 地が増加した一方で、伊勢湾岸道路の完成により物流の絶好拠点として注目され大規模開発が 進んだことから遊休農地が減少し、農地の有効利用率は横ばいに推移したものと考える。 今後は地域計画の策定により各農地の10年先の将来像を示すこととなるため、7次計画ではこ れらを有効活用しながら、農業委員会と連携し、農地の有効利用に取り組んでいく。

成果指標の推移

No	2521	地域性空物の山苔類	No	
方向性	7	地域特産物の出荷額	方向性	
[億円/年] 14 13 12 11 10 9 8 7 H24	8 11.7 1 H26	9.3 9.3 8.7 8.5 8.4 7.9 7.6 H28 H30 R02 R04 [年]		

No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標は基準値から大きく減少し、単位施策は順調に進展しなかった。 品目ごとの出荷額はこの10年で、フキは62%、タマネギは55%、洋ランは10%減少し、出荷 額総額としては40%減少している。これは、生産資材費の高騰や農産物販売価格の低迷により 経営が圧迫されるなか、農業者の高齢化による減少や担い手不足、天候に左右される収穫量、 消費者需要の影響を受け、地域特産物の出荷額は大幅に減少したものと考える。 7次計画では、本市の特産を守るためにも関係機関と連携し、担い手の確保に取り組むととも に、採算性が取れる農産物として産地強化やブランド化等、農業経営の体質強化の支援を図っ

ていく。

活力 理念 章 04 産業・勤労

節 02 商工業

施策 26 商工業を活性化する

施策主管課【商工労政課】

めざすまちの姿

新しい産業が創出されるなど、魅力ある商工業となっており、活性化している

施策の基本方針(総合計画から抜粋)

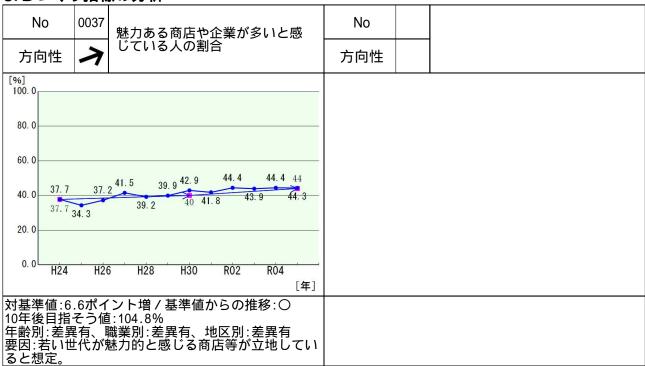
商工会議所や事業所、大学・高校などと連携して、地場産業の振興や新たな結び付けによる事業拡大、特産品の研究・開発を進めるなど、創業と発展的な経営を支援します。 あわせて、「東海市中小企業振興基本条例」に基づき、中小企業者に対する支援を進めます。 また、交流人口の拡大を目指して観光資源の整備を進めるとともに、事業所などと連携したインバウンド事業を進めます。

施策実現のための財源投入状況

(単位:千円)

	単位施策名称	R05年度予算	R05年度決算
01	新たな産業の育成や創業を支援する	82,744	74,902
02	活力ある商業店舗づくりを支援する	23,009	22,483
03	商工業者の経営を支援する	402,993	392,877
04	観光資源を活用し、にぎわいを創出する	159,993	156,324
·	施第合計	668, 739	646.586

まちづくり指標の分析



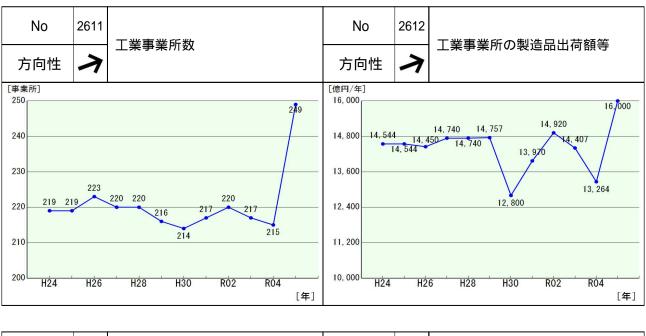
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標はめざそう値を達成していることから、施策は順調に進展した。 市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業などにより、市内店舗での利用促進が図られた結果であると考える。

日本全体では緩やかな経済回復基調といわれているが、物価高騰や全国的な人手不足など、 商店や企業を取り巻く環境は厳しい状況が続くことが見込まれることから、7次計画では引き続き、企業立地の促進や交流人口の拡大などによる市内での消費喚起、事業活動の継続に向けた 支援など、幅広い視点での事業展開を推進していく。

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標の2指標が基準値から順調に増加しており、単位施策は順調に進展した。 本市の産業構造から、「工業事業所の製造出荷額」が基準値よりも増加しているのは、世界 的な半導体不足が緩和に向かい、生産活動が回復してきていることが起因していると推察する

。7次計画でも引き続き、地域経済の活性化のため、企業立地の促進や新たな産業の育成、創業の支援を行っていく。

単位施策 02 活力ある商業店舗づくりを支援する

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移

No	2621	主に市内の商店などで買い物や	No	
方向性	7	主に市内の商店などで買い物や サービスを利用している人の割 合	方向性	
[%] 100 83. 5 82 80 40 20 H24	81. 3	84. 7 85. 3 85. 4 85. 4 86. 1 86. 3 87. 7 84. 2 84. 2 H28 H30 R02 R04		

No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標が基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。 「主に市内の商店などで買い物やサービスを利用している人の割合」は増加しており、市内 小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業等により、市内での買い物やサービス利用 が図られたためと考える。 7次計画でも引き続き、市内での消費喚起や市内店舗の魅力発信などにつながる方策を実施し ながら、活力ある商業店舗づくりを支援していく。

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移

No	2631	小規模企業等振興資金信用保証	No	
方向性	小規模企業等振興資金信用保証 対の補助件数 対の補助件数		方向性	
(件/年] 400 350 350 250 200 150 137 100 50 H24	H26	366 244 138 103 102 88 101 78 85 101 78 85 R02 R04 [年]		

No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

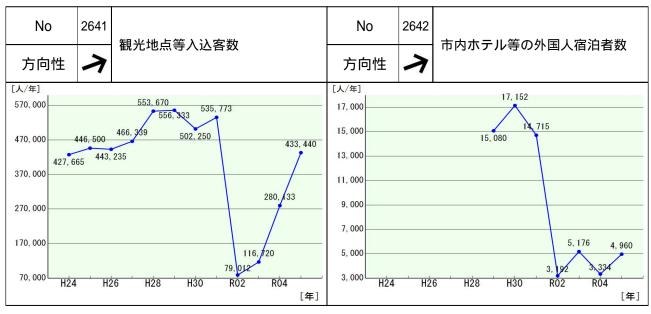
成果指標は、基準値から順調に向上しており、単位施策は概ね順調に推移した。

「小規模企業等振興資金信用保証料の補助件数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により創設された無保証料の融資制度が令和2年度で終了したことで、小規模企業等振興資金信用保証料の活用が増加していることが主な要因であり、資金調達に苦慮する事業者への経営支援を行ってきたことによるものと考える。

行ってきたことによるものと考える。 原材料費等の物価高騰や人手不足など、企業経営を取り巻く環境の厳しい状況が続くことが 見込まれるため、7次計画では、引き続き商工会議所と連携を図りながら経営支援を実施してい く。 単位施策 04 観光資源を活用し、にぎわいを創出する

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標は基準値から低下しており、単位施策は順調に進展しなかった。 「観光地点等入込客数」は、東海まつり花火大会などの大規模イベントの中止や外国との往 来制限などの新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、令和5年度は、コロナ禍以前 の水準程度まで回復している。一方、「市内ホテル等の外国人宿泊者数」は、主に中国からの 団体観光客が回復しなかったことにより低い水準となっている。 経済成長を背景とした東南アジア諸国からのインバウンド需要の高まりや国内景気の回復、 行動制限の撤廃により、交流人口や観光客の増加が見込まれるなか、7次計画でも、引き続き観 光資源の磨き上げを図りながら、にぎわい創出・拡大を図っていく。

章 04 産業・勤労 理念 いきいき

節 03 勤労

施策 27 市民の就業を支援する

施策主管課【商工労政課】

めざすまちの姿

若い世代、女性、障がい者、高齢者など就業の場が豊富である

施策の基本方針(総合計画から抜粋)

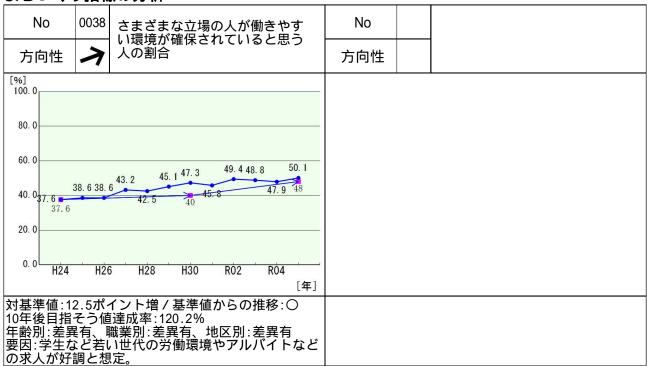
労働問題、職業紹介など労働に関する相談の実施、職業安定所や事業所などから得た情報の提供を行い、障がい者や女性などさまざまな人の就業の場の確保と働きやすい環境を整備します。

施策実現のための財源投入状況

(単位:千円)

	単位施策名称	R05年度予算	R05年度決算
01	雇用対策を充実させる	60	58
02	勤労者支援を充実させる	129,686	129,259
	施策合計	129.746	129.317

まちづくり指標の分析



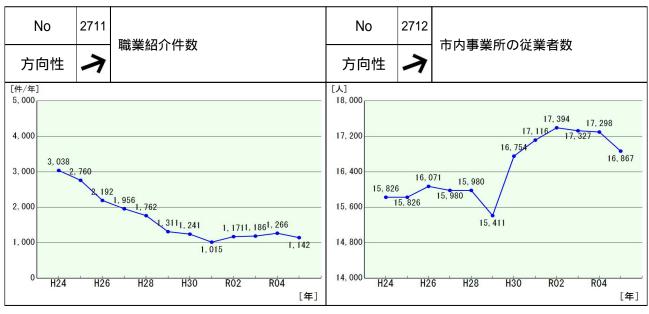
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標は、めざそう値を達成していることから、施策は順調に進展した。 すべての年代で順調に推移したが、特に若い世代が高い伸び率を示している。これは、若い 世代を中心に有効求人倍率が増加しており、企業側の人材確保の観点などから労働環境の改善 が進んでいるためと考える。

7次計画では引き続き、労働者保護の観点から行われる制度改正を市のホームページなどでお知らせするとともに、関係団体との連携を通じて、さまざまな立場の人の就業の場の確保と働きやすい環境整備を支援していく。

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標2指標のうち1指標が基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。 成来指標2指標のプラミ指標が基準値がら向上してのり、単位施泉は概ね傾向に進展した。 「職業紹介件数」は、基準値より大幅に減少しているが、民間事業者が提供するインターネットサービスの普及により、職業相談によらず就業の場を確保できる環境が整っていることが大きな要因であると考える。また、「市内事業所の従業員数」は、事業拡大や企業進出などの要因により基準値より改善したと考える。 7次計画では、物価高騰による雇用環境への影響の長期化が懸念されるなか、引き続き多様な就業へのニーズに対応できるよう関係機関と連携を図っていく。

成果指標の推移

No	2721	兴·孫h +口≐火·//+ 米h	No	
方向性	7	· 労働相談件数	方向性	
[件/年] 160 142 124 118 106 88 70 H24	45 122 H26	140 120 108 102 105 107 102 105 107 108 80 H28 H30 R02 R04 [年]		

No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標が基準値から低下しており、単位施策は順調に進展しなかった。

成来指標が基準値がら低下してあり、単位施泉は順調に進展しながった。 「労働相談件数」の減少傾向は、全国的な人手不足やハラスメントへの意識の高まり、景気 回復を背景とした賃金のベースアップなどにより、雇用・就業環境の改善が図られているとと もに、オンライン相談といった多様な相談環境が整ってきたことによると考える。 景気回復、賃金ベースアップの効果が広く浸透するには、一定の時間を要することが見込ま れるなか、7次計画では引き続き、従業員の福利厚生の質の確保など、勤労者の支援につながる 事業を実施し、就業環境の改善の促進を図っていく。

理念 安心 章 04 産業・勤労

節 04 消費生活

28 安全な消費生活を支援する 施策

施策主管課【商工労政課】

めざすまちの姿

正しい知識や情報を得ることができ、消費者が安全な商品を選ぶことができる

施策の基本方針(総合計画から抜粋)

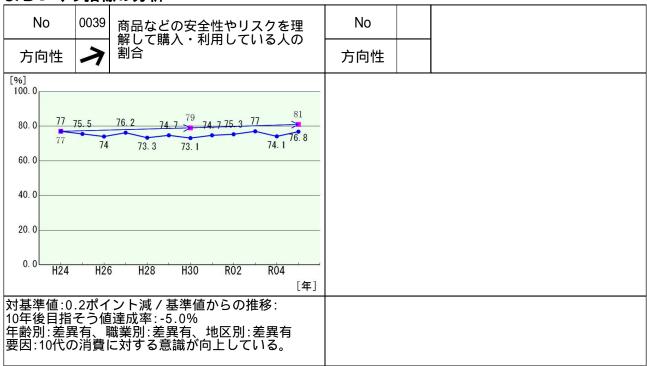
消費生活センターの運営により、消費者が安心して安全で豊かな消費生活を営むことができる 社会の実現に向けた情報提供や相談体制を充実します。

施策実現のための財源投入状況

(単位:千円)

	単位施策名称	R05年度予算	R05年度決算
01	消費生活に関する情報提供を充実させ、意識の向上を図る	1,503	1,480
02	消費生活に関する相談体制を充実させる	2,057	1,834
	施策合計	3.560	3.314

まちづくり指標の分析



めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標は、基準値から0.2ポイント減少しているが同じ水準で推移しており、単位施

策の成果動向はいずれも順調であることから、施策は横ばいで推移した。 近年では、高齢者が商品や買い方のリスクなどを意識せず、SNSをきっかけとして消費トラブルに巻き込まれる事例もあり、多様化する消費トラブルへの理解が十分に進んでいないと考え

る。 7次計画では、引き続き消費生活相談や消費生活講座を通じた啓発活動に努め、消費生活への 関心の向上や正しい知識の習得を図っていく。

施策 28 安全な消費生活を支援する

単位施策 01 消費生活に関する情報提供を充実させ、意識の向上を図る

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移

No		2811	市民向けに行う消費生活講座の	No	
方向	方向性		市民向けに行う消費生活講座の 参加者数	方向性	
	2 180 H24	516 48 H26	295 176 120		

No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標は、基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。

「市民向けに行う消費生活講座の参加者数」は、高齢者の参加意欲が高くなっており、スマートフォンが身近なものとなり、インターネット通販への関心が高まっていることが要因と考える。

ードフォブが身近なものとなり、イブターネット通販への関心が高ようでいることが委囚と考える。 消費トラブルに巻き込まれないためには、消費者が正しい知識を持つことが重要であるため、7次計画でも、引き続き消費者講座などを通じて、啓発活動に取り組んでいく。 施策 28 安全な消費生活を支援する

単位施策 02 消費生活に関する相談体制を充実させる

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移

No	2821	: 此	No	
方向性	7	消費生活相談件数	方向性	
160 160 123 80 1424	125 03	342 303 290 240 240 94 85 H28 H30 R02 R04 [年]		

No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標が基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。

成業指標が基準値から順調に向上してあり、単位施泉は順調に進展した。 「消費生活相談件数」は、インターネットを通じた買い物がきっかけとなったトラブルに関 する相談が増加しており、多様化する消費トラブルに関する相談に適切に対応できるよう、消 費生活相談員の研修や意見交換会を実施して相談スキルの向上を図っている。 今後も多様化が懸念される消費者トラブルに適切に対応できるよう、7次計画においても、消 費生活相談員の研修や意見交換会を実施して相談スキルの向上を図るとともに、消費生活セン ターのPRに取り組んでいく。